

1

文章・談話 段落 文

名前

組 番

1 次の言葉の単位についての説明として正しいものを選び、記号で答えなさい。

- 文章 談話 段落 文
- ア まとまった内容を表した、一続きの言葉。
- イ 小説や手紙のように、文字で表した一まとまりの内容。
- ウ 文章を内容のまとまりによって区切ったもの。
- エ 会話や演説のように、音声で表した一まとまりの内容。

--	--	--	--

2 次の段落は、いくつかの文からできていますか。数字で答えなさい。

勇太の言った通りだった。そこには、真つ白い虎が悠然と身を横たえていた。まるで公園の遊具の一部みたいだ！信じられなかった。ぼくは夢を見ているのだろうか？

--

3 次の文章を三つの段落に分けるとき、第二・第三段落の初めの二字をそれぞれ書きなさい。

人類が空を飛ぶためには、何かしらの乗り物に乗らねばならず、飛行の種類としては、動力（エンジン）飛行と無動力飛行がある。まず、動力飛行の歴史からみると、一番に名が挙がるのは、ライト兄弟である。彼らは動力飛行機を発明し、世界初の有人動力飛行に成功した。一九〇三年のことである。では、それより前の、無動力飛行についてはどうか。無動力で飛行ができるものに熱気球がある。世界初の有人無動力飛行を実現させたのは、この熱気球の実験を行ったモンゴルフィエ兄弟であった。一七八三年のことである。

第一段落		第三段落	
------	--	------	--

4 次の文章に句点を六つ付けなさい。

その神社は、斜面のふもとにへばり付くように存在していた申し訳程度の小さな鳥居は黒ずんでおり、さらには、片側から竹が覆いかぶさっていたくぐった先には、手洗い場も石畳もなかった鳥居から小ぢんまりとした社殿までの距離は、十メートルにも満たないうえ、すぐ脇の幹線道路を車が時速六十キロメートル以上でバンバン走り抜けており、静けさの欠片もなかった私は神社の定義など知らないが、ここは神社と呼べるのだろうか鳥居の形の門と社殿めいたものさえあれば、そこには神様が宿るのだろうか

